

令和6年度第1回東久留米市健康づくり推進協議会 議事録

- 1 日 時 令和6年5月14日（火）午後1時30分～午後2時40分
- 2 場 所 わくわく健康プラザ1階講堂
- 3 出席者 委 員 前田委員 熊野委員 神谷委員 大槻委員 菊地委員  
土屋委員 宮本委員 鷹羽委員 井原委員 嘉喜田委員  
堀野委員 金子委員 當真委員 戸張委員  
事務局 福祉保健部長 健康課長 保健サービス係長  
健康課職員5名  
コンサルタント2名
- 欠席者 なし
- 傍聴者 なし
- 4 次第内容 (1) 開会  
(2) 議題  
1) 東久留米市健康増進計画の改訂について  
①市健康増進計画（第3次）の骨子案について  
②検討事項  
・「第4章 計画の基本的な考え方」について  
③策定のスケジュールについて  
2) 令和6年度の健康づくり推進部会の取組について  
(3) その他
- 5 配布資料 令和6年度 第1回健康づくり推進協議会次第  
資料1 わくわく健康プラン東くるめ（第3次）骨子案  
資料2 わくわく健康プラン東くるめ（第3次）別紙資料  
資料3 健康増進計画指標比較（国・都・市）  
資料4 市健康増進計画（第3次）策定スケジュール  
資料5 令和6年度 健康づくり推進部会スケジュール  
【参考資料1】健康日本21（第三次）概要  
【参考資料2】東京都健康推進プラン21（第三次）概要

## 6 会議内容

### (1) 開会

- 1) 福祉保健部長挨拶
- 2) 新委員の紹介
- 3) 委嘱書交付
- 4) 出席委員の報告 出席者 14名で過半数に達しており会議は成立  
傍聴者の確認 傍聴者なし
- 5) コンサルタント紹介
- 6) 資料確認

### (2) 議題

#### 1) 東久留米市健康増進計画の改訂について

##### ①市健康増進計画（第3次）の骨子案について

##### ②検討事項

- ・「第4章 計画の基本的な考え方」について

(事務局)

資料2、3、4について説明

(会長)

説明ありがとうございます。ただいま事務局より骨子案の説明があった。市の健康に関するデータや、昨年実施したアンケート結果を踏まえたグラフの提示もあった。それを踏まえて「計画の基本方針案」とともに、国の「健康日本21（第三次）」及び東京都の「健康推進プラン21（第三次）」と、市の次期計画の指標案が示されたところである。前回の書面会議でもご意見をいただいたが、皆さん方からいろいろなご意見をいただいて素案を作成していく予定になっている。書面会議を踏まえてのご意見、あるいは今日の説明を受けてのご意見をいただければと思う。今回は第1回ということもあり、ぜひお一人ずつご発言をお願いしたい。

(委員)

資料4、国の「健康日本21」の指標で歯科検診の受診者の増加が大きく掲げられており、東久留米市としても定期的な歯科健診受診者の増加が指標に入っている。近年、歯周病と糖尿病や脳梗塞、心筋梗塞等の生活習慣病との関連性が指摘されているため、生活習慣病を有する方の歯科受診勧奨を指標にさせていただくのも良いと思う。

(委員)

資料4に薬という項目はないが、薬剤師会として医師会、歯科医師会等のフォローをしていければと思っている。指標一覧の項目に服薬に関するものがいずれ入ってくれば、薬剤師会として仕事冥利に尽きる。薬剤師にできることとして、薬に関する相談受付や情報発信等をしていきたい。

(委員)

東京都のプランは広域ということもあり、どうしても総花的にならざるを得ないが、各市の取組を一つひとつ見ていくと地域に見合ったもので、それが積み上がって都全体の底上げになっていくと感じている。そういう意味でも、東久留米市の指標は強化すべきところにポイントが当たっていると思う。多摩小平保健所は東久留米市、小平市、東村山市、清瀬市、西東京市の5市を所管している。各市似たような計画を立てているということもあるため、保健所としては圏域の比較を行い各市にフィードバックする形で支援していきたいと考えている。

(委員)

こころの健康については指標を設けるのが難しいと思う。社協でも地域づくり、つながりづくりを進めているが、コロナの影響もあり人々の孤立が顕在化している。その辺り、どのように対策を立てていけば良いか悩んでいる。やはり地域づくりが人々の健康につながっていくのではないかと思うので、社協としてもその方向で取り組んでいければと考えている。

(委員)

こどもの頃から健康に対する意識づけが必要だとは思いますが、それを指導する親の日常生活が大変で、こどもや自分自身の健康に手が回らないところもあるのではないかと、アンケート結果から感じた。高齢になり少し自分のことを考える余裕ができると、「健康でなくてはならない」「周りに迷惑をかけては駄目」という気持ちが強くなって社会参加する、あるいは自分の健康維持について目を向けるようになるのだろうと思う。私たちとしても、そういうことのお手伝いが少しでもできれば良い。

(委員)

2月に高齢者関係のヒアリングを受けた。その結果がアンケート調査結果報告書の129～136ページに掲載されているので、ご覧いただければと思う。

シニアクラブとしては、コロナの影響もあって会員やクラブ数が減り苦労したが、5類に変更になって少し落ち着いてきた。この1年は少しではあるが会員が増え、28から19に減ったクラブ数もこの春には20にまで復活した。こういう状況下、シニアクラブとしては関係団体、特に市の福祉総務課をはじめとする関連部署といかに連携して会員増強に当たるかが最大の目標だが、共通する命題としては「健康寿命の延伸」を目標にしている。この目標を達成できるよう努力していきたい。

皆さんに会報をお配りしているが、これは年3回、1回当たり2200部発行している。会員は1300人なので、残り900部は市役所、社会福祉協議会等の関係機関に配布している。市の福祉総務課の方で年2回シニアクラブ会員募集の広告を出していただいております。毎回15～20人会員が増えている状況。会報でも市の許可を得て同じ広告を掲載している。我々としても市と同じようなテーマを掲げ、会員増強に向けてこれからも努力していきたい。

(委員)

アンケートについては隅から隅まで読んで前回書面会議で意見を提出した。ただ、そ

の回答内容は社会教育委員として教育委員会で議論した末のものではなく、私個人の意見である。アンケート調査結果報告書の概要版で私が関係するのは7ページのこども中心のところかと思う。健康状態についての設問に対して、自分の健康状態は「よくない」と答えているこどもの数は平均的な数値なのか、その辺りの説明があると良いと思った。それから、朝食をほとんど食べないと回答したこどもがなぜ食べないのかということまで把握すれば、健康づくりにつながるかはわからないが、生活苦等の問題により朝食をとれないこどももいるのかも知れないと推測できる。

(会長)

指標の関係で、事務局から何かあるか。

(事務局)

また確認し、比較できる項目があれば盛り込んでいきたいと思う。

(委員)

書面会議の際に自分の意見をしっかり書いたため、追加意見はない。スポーツ推進委員としては、普段スポーツをしない人、例えば、男性の参加率が極端に低くリタイアして一人で家にいる男性を、地域に出て来させてつなぐことなどが役目だと思っている。こどもであれば、ポッチャなどの遊びから入って体を動かすというようなことで自然と運動習慣を身に付けていき、健全な身体づくりを目指している。健康づくり推進部会でいろいろなイベントがあるが、我々スポーツ推進委員の目的と似ているので、コラボしての取組が何かできないかと常々考えている。東久留米が一丸となるような形で、総合的に市を盛り上げていきたい。

(委員)

障害には身体・知的・精神の3部門があるが、その割合が書かれていないことに違和感を覚えた。

(委員)

アンケート結果概要を見ると、目標値に随分近づいていると思う。すぐに結果を出すことは難しいと思うが、食事をメインとした高齢者対象の集まりのような地道な活動が大事である。栄養講話等のいろいろな機会を通して情報発信し、東久留米市民の健康増進に貢献したいと思う。

(委員)

計画の基本方針や情報発信を含めた市としての活動、そして計画そのものが市民に浸透しておらず、わかってもらえていない。アンケートを見てもそう思う。広報を見ている人が8割以上いるにもかかわらず、計画を知っている人は2割台。私自身も健康づくりのきっかけづくりとして「わくわく元気 plus+」に長い間携わっているが、認知度はたった 9.5%で市民に浸透していない。周知にもっと力を入れる必要があると思う。

社会参加の重要性が指摘されているが、健康づくりにおいても重要だと思う。アンケートを見ると、ロコモティブシンドロームやフレイルの認知度が低い。人々がもっと

自分の健康に対する危機意識を持って健康づくりに取り組むことが大切だと思う。市でウォーカブルマップアプリの導入を新たに計画されているそうだが、具体的なイメージがあれば教えて欲しい。

(会長)

ウォーカブルマップアプリについて、説明できることがあればお願いしたい。

(事務局)

(現在は) ウォーキングマップを紙ベースで作っている。高齢者を中心に好評で、このマップをもらいに来る方も多いが、時が経つにつれて道や目印の建物等が変わっていく部分があるのと、歩いているうちに迷ってしまうというご意見もある。そのようなこともあり、ウォーキングマップを中心としたアプリを作っていく予定である。そちらにはウォーキングマップだけでなく市内の地場産野菜の直売所、スポーツセンター、公園等のマップ情報を載せる。健康情報もアプリに含め、3年間かけて開発していきたいと考えている。アプリによるイベントの配信や、歩くごとにポイントが貯まって抽選に応募できるというようなことも行い、歩きたくなるまちづくりをしていきたいと思っている。

(委員)

推進員として健康づくりに関する研修を受け、勉強したことを地域の方に楽しく発信している。例えば口腔ケアは、昔と違って今は痛くなる前に歯医者に行くことが大事。歯周病菌ゼロの人はいないからだ。それから、小学4年生を対象に禁煙キャラバンという防煙教育も行っている。たばこを吸う人が少なくなったのも、その影響があるかも知れない。これからも健康に関して得た情報を地域に発信していきたいと思っている。

(副会長)

医師会としては、市民の健康寿命の延伸を目標にしている。予防、早期発見が大事。そのためにも各種健診があるが、目標受診率50%に対し例えば肺がんの検診受診率はわずか1%と低い現状である。予防や早期発見の重要性が認知されていない部分もあるかも知れないので、医師会としても市と協力しながら健診の積極的な受診を訴えていきたい。

(会長)

様々なご意見をありがとうございます。最後に私からまとめを述べたい。保健所から都の計画は総花的なので市の計画は特性を出して欲しいというようなご意見もあったが、今日いただいたご意見にしても非常に市の特性が現れているし、市の目指すべき方向性を示唆しているものと思う。こうしたご意見を踏まえながら東久留米市らしい計画を作っていきたい。

新型コロナウイルス感染症の影響でシニアクラブ数が減少したというお話もあったが、やはり人が集まることが健康づくりにつながる。これは健康づくりの計画であるが、貧困の問題とも関連しており、国や都の計画にも健康格差の解消ということが書かれ

ている。その辺りについては本協議会だけではなく、地域福祉計画、総合計画等とも連動しながら解決策を考えることが必要で、市全体で進めるべきである。今日は熱心なご協議をありがとう。

③策定のスケジュールについて

(事務局)

資料5について説明

(会長)

ただいまスケジュールについて説明があった。今後とも計画の策定にご協力をお願いしたい。

2) 令和6年度の健康づくり推進部会の取組について

(事務局)

資料6について説明

(会長)

今年度、健康づくり推進部会では計画策定と同時にこうした様々な活動を行っていくということである。ただいまの説明について、ご質問・ご意見等あるか。

(全委員)

特になし

(3) その他

**【事務局より事務連絡】**

令和6年度 第2回健康づくり推進協議会開催日程について

令和6年10月2日(水) 午後1時半～3時 会場：わくわく健康プラザ

・計画素案について

令和6年度 第3回健康づくり推進協議会開催日程について

令和7年1月14日(火) 午後1時半～3時 会場：わくわく健康プラザ

・計画案について、パブリックコメント結果について

以 上